

令和2年度広島県立呉特別支援学校センターだより



カメラア Camellia

第4号

令和2年6月25日発行

—カメラアは、ツバキ科の植物の総称です。呉市民の花はつばきであり、本校校歌の歌詞にも含まれています。—

夏季教育相談週間の御案内

7月27日(月)~8月7日(金)(土日を除く)は、夏季教育相談週間です。

本校への入学及び転学を考えている方は、所属先を通じてお申し込みください。

なお、本校ホームページに学校紹介用のスライドを掲載しています。

授業の様子や施設・設備等を写真で紹介しています。是非、御覧ください。



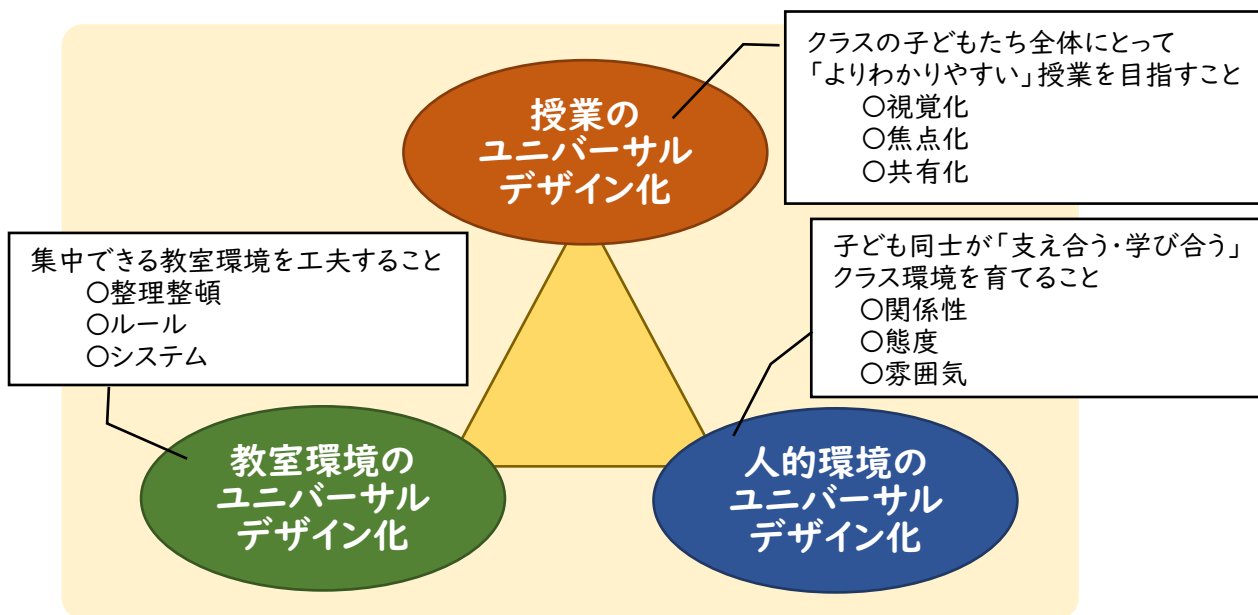
【本校ホームページ内】学校要覧, 教育相談(学校案内パンフレット, 学校紹介)

http://www.kure-sh.hiroshima-c.ed.jp/22TOP11-21/18_kyouiku_soudan/kyouiku_soudan_top.html

教育のユニバーサルデザイン

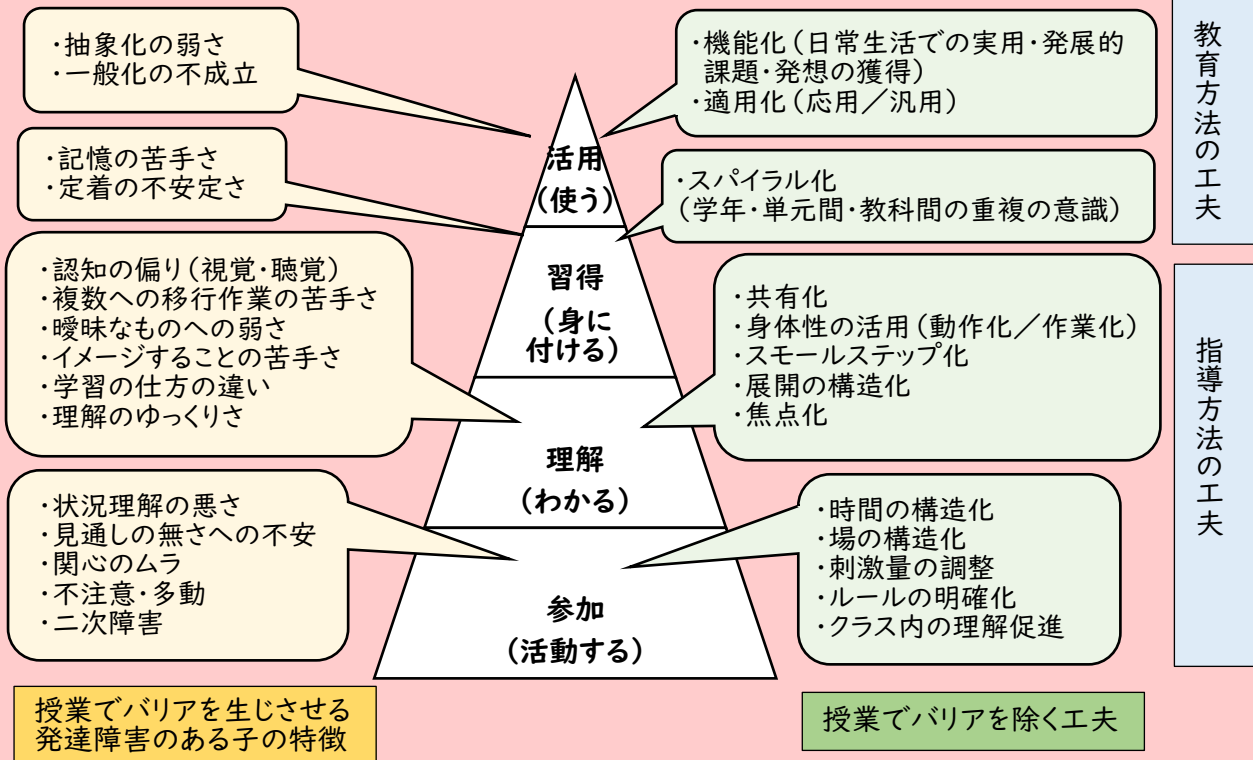
阿部利彦(2014年)は、教育のユニバーサルデザインを「『より多く』の子どもたちにとって、わかりやすく、学びやすく配慮された教育のデザイン」である」と説明しています。

教育のユニバーサルデザインには三つの柱があり、その三つは相互に影響し合っており、どれも切り離すことができないといわれています。



また、小貫悟(2014年)は、学校教育の中のユニバーサルデザインを「発達障害がある子だけでなく、すべての子にとって参加しやすい学校, 分かりやすい授業」と説明し、ユニバーサルデザイン化された授業モデル(授業のUD化モデル)を示しています。

授業のUD化モデル(小貫・桂2014年)



掲示物を減らし、刺激量の調整を行うなどの教室環境の整備、授業を視覚化して見せ方を工夫する視覚化なども大切ですが、人的環境のユニバーサルデザインも重要な柱です。

川上康則(2019年)は、問い直すべき「教師のあり方」とは何かを検討し、具体的に何をすべきかについて、次の八つの視点を示しています。

- ① よい教師は、子どもと共に笑う
- ② 教師本位のルール・ライン・基準を問い直す
- ③ 教室に不用意に吹かせている「風」を自覚する
- ④ 教師は「感情労働」という認識に立つ
- ⑤ 子どもの心に傷を残す“毒語”を使わない
- ⑥ 安全基地としての役割を果たす
- ⑦ 言葉かけよりも、フィジカルサインを用いる
- ⑧ 相手への敬意(リスペクト)を示す

教師は常に人と関わりがある仕事です。「あの子の不適切な行動をやめさせたい!」といった、相手の行動をどう変えるかという「関わり方」ではなく、子供たちの実態や子供たちを取り巻く背景を正しく理解した上で、大人側が「どうあるべきか」を、考えていくことが大切です。



参考:阿部利彦・赤坂真二・川上康則・松久眞実(2019年)

『人的環境のユニバーサルデザイン 子どもたちが安心できる学級づくり』東洋館出版社



広島県立呉特別支援学校

担当者:専任教育相談主任(特別支援教育コーディネーター) 平川 真衣

住所:呉市焼山北三丁目 22-1

TEL:(0823)33-0300 FAX:(0823)33-0308

